（第二版）

時事新報

壹年三百六十五日毎日刊行の新聞紙は日本國中より唯時事新報あるのみ

第千七百七十一號　火曜日
明治廿年十二月十三日
壬子十月二十九日（壬子）
（西暦一千八百八十七年）

時事新報

時事新報

讀ヲヤッパンメール新聞

加奈陀太平洋線路の通したるに付き時事新報より一議を記し怒ちヤッパンメール新聞紙の答る所と爲りて樣々辨明の後メール記者は時事の原文と譯文とを并べて此翻譯に誤りある可らず敵の字をエネミーと譯したり云々とて恰も翻譯の文字論と差向けられたるに付夫れは少しく誤解には非ずや敵の字の意味は云々にて必ず惡くき敵と申す義にあらずとて字義の返答せしに（本月四日時事新報）昨日又重ねてメール新聞に一文を掲げられて其大意に翻譯の當不當の如きは固より論ずるに足らず時事新報に於て英國に敵意あらざれば以て滿足す可し敢て我意を主張して自から非を遂げんとする者にあらざれども時事新報は少しくメール新聞を誤解する者にはあらずや、時事記者は自家の說に反對する者は可ふずと自から信ずる者の如し例へば親近の事件（何と指すか之を知らず但し我輩の臆測する所の事なれば故ありて云ふを好まず）の如き時事は大に國の不利を爲したれども吾〳〵は（メール記者）尙ほ時事記者の心事をば正しく知るものとして視る程の次第にて況して他の點に於ては十分に其志の在る所と信ずるものなり云々と我輩は此文を一讀してメール記者に謝する所なかる可らず記者は常に我輩に對するに寛大を以てして時事の文面は兎も角も其志の正しき所をば信ぜらるゝよし左れば過般以來の疑團も今は全く氷解して敵意云々の事は消して痕なき我輩の最も滿足する所なり平生是れまでに記者が我輩を信ずることあれば例の加奈陀太平洋の線路云々の文章中に偶然敵の字の誤りあるが爲めに記者の疑を引起して特に筆勢と執らしめたるは誠に心外の事にみそれ夫れ扨置き記者は我輩を評して自分の說に反對者なれを期するもけなりと言はれたれども是れは何の爲めれ言ふして何事に關係するふとなるや我輩の解する能はざる所なり其言に引續き親近の事件云々とあり何分るも加奈陀太平洋線路にも緣なと例の敵意云々にも關係せずして如何にも突然なるを知し若しも此事件が本論に關係あることならば其次第と承はり度く願い承はりて答辨の叶ふ事柄なふば直に答辨す可く叶はざる子細あらば何と論鋒を差向けられても默して止さる可し兎に角に時事新報が我最上の友國にまて東洋に最も勢力重き英國に對し厚意の敵意あるきの至誠丈けい通じてメール記者も釋然ふりしは我輩の欣喜に堪へざる所なり

官報

○文部省令第十三號
明治十九年（五月）文部省令第十號第九條義常師範學校生徒員數表中栃木縣ノ次ニ奈良縣ヲ挿入シ其生徒員數ヲ百名トシ大坂府ノ生徒員數ヲ百八十名ト改ム
明治二十年十二月十二日　文部大臣子爵森有禮
○郵信省告示第二百三十號
朝鮮國仁川郵便局ニ於テ來ル二十一年一月十六日ヨリ郵便爲替及貯金事務ヲ開始ス
明治廿年十二月十二日　郵信大臣子爵榎本武揚

雜報

○東京府令第七十號
明治二十年度區部共有金支出退加豫算常置委員會ノ決議ヲ經テ左ノ通定ム
明治廿年十二月十二日　東京府知事男爵高崎五六
明治二十年度區部共有金支出退加豫算
一金千二百圓　鐙橋架換費
○官吏褒賞　樺山海軍次官の一行は去る十日英國に向け經宵を出發せり
○日本郵船會社への達　大藏大臣は去る九日日本郵船會社へ左の通り達したり（大藏省）
其社營業並資產ニ係ル收支豫算書差出方ニ付本年十一月七日付第五六八五號及ト第五六八六號ヘ取消ス
○郵便及電信收入　本年十一月中各郵便電信局及郵便局電信局に於て收入せる郵便稅電信料等の概算は郵便收入金十九萬八千六百五圓、電信收入金五萬七千三百十七圓あり（遞信省）
（以上本年十二月十二日官報）

雜報

○ブーランセー將軍巴里に到る　過日巴里發の電報に見えさる如くブーランセー將軍い十一月十四日を以て其任所クレモント フヒーランドより巴里ふ到着したり將軍い豫かしめ迎々人民の迎接に遇ふて迷惑せんとを慮かり態と急行列車にて出發したるが巴里の停車場には定めて人民の群集するならんとの恐れあるを以て窃かに二人の屬官を伴ひて途中の停車場より下車し玆に待ち受けたる二三の友人に向ひ纔かに寒暄の挨拶をたる儘直ふ馬車に打乘り途を急きて巴里の旅館に到着し六周間程滯留する由將軍は至極壯健の樣子に見ゆれば一箇月の禁錮も其身體に害をおさゝりしや明かなり將軍の夫人令孃も兩三日中には到着する筈にて馬四頭、馬車二輛も追て來るべし其到着を聞くや旅館い早く既ふ來訪者を以て滿し門外は恰ながら來客と以て隊伍を組み立たる如く各々先と爭て名刺のみを通せんともるに夫ふ早朝より來り午時頃までは待たせらるる次第にて陸軍省より將軍の旅館まで出訪者の行列引續きて絶人い通行もあらぬ程なり扨て將軍い直ふ軍人連絡會議に出席せしが歸路には人民群集して之を迎へ中にも一隊の一兵士喇聲を發して將軍の馬車を迎へながら「ブーランセー萬歲、愛國者萬歲、佛國大統領ブーランセー萬歲、フュリー、ウサルンンと打斃せ」と叫びたり又其中の一人は前頭に進みて演說となし將軍拘引の事に說き及ばんとせしと兇將軍い之を止めたり斯く群々人民兵士歡呼鳴來の中に漸く旅館まで歸りたりといふ

○露國の虛無黨　近頃維也納府ふ於て捕縛さる露國の虛無黨員は自から其名をヴォルツンと唱へ居れども同府駐劄の露國公使は先年前帝アレキサンダー二世と親しく信じ居るよし尤も同人は曾て暴裂彈を觀たるまとしと信じ居るよし尤も同人は曾て暴裂彈を觀たるまとのあるのみならず前帝の暗殺されたる其際は無政黨に與をしたるの罪と以てサイベリヤに遷放されたる旨を主張する趣なれとも、愼國い假令斯る犯罪ハ國明あるも其鎭約に由り同人と露國へ引渡そみとならん云々と近着の英國新聞に見えたり

○勳章恩與の使命　故鳴洋公の病危篤なりとの報東京に至るに及んでは薩摩書臣の東京に在る者紐新の當時親しく公の左右に在りて艱難と共にしたる人は貴き藩き用事を從兇て公の病を見舞ひし者さへありし由あるが其節吉井次官には陛下より賜りし所の大勳位并に病花大授章を公に贈る爲め鹿兒嶋ある公の邸へ行きまに公ふは其日殊の外危篤にて吉井次官は面會さへ出來さりしが其翌日は公の容體頗る快氣に赴きしかば久しぶり吉井に面會さしと公の方より望まされば其折次官には陛下より勳位下賜の旨を傳へしに公には固く辭して容易に受くる景氣かりしが次官は强て陛下及皇后宮にい久光の事もあ定て辭する事ならんと御心配給ひし旨を語るに及んをそは甚だ勿體なき御事なりとて直に受けたる由なり

○嫌疑　過日來秘密出版の儀ふつき續々有志家中に拘引せらるゝ者ある中に新潟縣の縣會議員にて當時出京中なる鈴木昌司氏以下數名の拘留一條は多分彼の秘密出版と同事件あるべしとの事なりしが今聞く處によれば國事上別に込入さる犯罪の嫌疑なるべしとも云へり

○高知縣知事　田邊高知縣知事は一昨日出京して銀座一丁目の林屋に投宿せし由あり

○香港に於ける日本製マッチの景況　近來日本製のマッチは輸出を增加し昨十九年度は三十七萬餘圓本年一月より七月までに五十九萬餘圓の巨額ふ輸出せりとの報告ありて世人い將來に向て大に希望を屬せし處此頃該業に關して甚だ悲む可き報告を得たり

在香港我領事より外務省への報告に曰く日本製マッチの當港に輸入し或は他の諸港に轉入するもの多くは支那人又は他の亞細亞人の需用に供たる者にして決して西洋人の用に供するにあらず而して支那人又は他の亞細亞人は物價に厘毛の差異を爭ひ何品に係らず主として其廉價なると喜ばれ形勢あれば日本製マッチは知きも短價外國製に比して低廉なると半價位あるより好んで之を需用し來りし者あらん然るに其體類陸續增加ふ今日ふては現に日本人の手にて製造するマッチは其體類二百種に下らずと云ふ而して其製造方と逐日粗惡に流れ需用人の恐評至て惡く取引人は其先兇行き宜しからざるを懼れ買込方と見合も者多く既に從前拾八鳴內外の品物現今にては拾二鳴位に下落ふ其上取引上太だ不活潑なれば其價格も如何なる點迄下落をるや計り難きを以て本邦の製造は隨て益々粗惡に陷り爲に益々需用と減じ竟には輸入の道と斷絶するに至るも亦知る可からず云々（二十年十月廿八日附報告）又其後れ報に曰く本邦製マッチの商況は近來實に販路絶滅の秋に逼迫れり右は全く本邦製造人自ら招く所爲にして其製造の粗惡と正僞相混ふる商標の亂雜あるとに起因したるに相違あ兇者の如し元來本邦各地に於て該製造に從事する者實際其資本に乏く徒に粗惡低價の品を製造して奇利を貪り或は外商の依頼を受て外國製に模擬し徒に廉價を競ひ又或は慣例に依て許可と受けたる商標と模擬して其持主の販路と名譽とを妨害し終に正統の商業者に害毒を及ぼし以て全く此販路と絶滅せんとをる有樣と致したる者と被察候云々（廿年十一月十四日付報告）

抑もマッチの東洋に販路を開きたるは瑞典、那威ふて幕で獨逸製は其商標を古めたるい實に今を距る十餘年前のとあり之が獨國よりシャムロの首府バンコウに輸入するマッチ賣高の金額三十萬ダーレル（一ダーレルい凡我七十五錢）程あり人口六七百萬にして三十萬金國四億の人口に對して今似りに其半額と日本にて萬ダーレル（即我七百五十萬）程ふ於ても一箇年に輸入高凡そ製なりと云へり然るに今最の希望は全く地に墜ち從來る數十萬の賞目い壺く其需の計畫は壺く其目的と失ひマッチ用材の缺乏に至らん着手せりとのとあれば製造に非ざるべし當業者は此際ざる可からず其業他あし製造を改良せるにい差當り各宜合併して一會社を組織し專に製と防ぐも亦其一にして濫製と防ぐも亦其一

○山陽道鐵道會社の近狀　したる顧問技師エッチ ダブリュ英國西部鐵道會社の技師を專に經驗にも富む老練家の廿八日米國と經て去る一日社技師大鳴仙藏氏と共に神爲め出發をたる由右見分の東海道鐵道線路と實視する陽道鐵道の全線路を踏査すと目下內閣にて同社の定款類を審ず併し遽ふらず其運びに及ず事は準備最中ふて免狀下附の哩の線路一齊に土功ふ着手十八日三十哩丈英汽船オルと到着し此程悉皆神戸鐵道局所へ建築中の倉庫（三百坪）管にて已に來着の鐵具類は兵庫縣廳にて此程縣官吏高橋太郎の四氏と臨時山陽地の地所家屋買上げ其他海道諸縣へ派出したり又同目下一株（百圓）ふ付十五圓達しふるが更に來年三月十日拂込ひべき旨夫々通知した

○神戸電燈會社　同會社は先矢野虎一、橋本廉右衛門、矢り創立せるものにて資本金募集中ありしが最早や應募者に至りふるよし同社は今度在神戸區へ一切東京電燈會社へ依頼し廣岡市助氏には鄉里より上京序を以て神戸電燈會社の爲め付の場所と見分し尙又電燈會書見を遂ふり同氏歸京の上は商會へ注文し之を米國より之を暫く時機の到るを待つとのみ殿くる利益あるべ已ふ